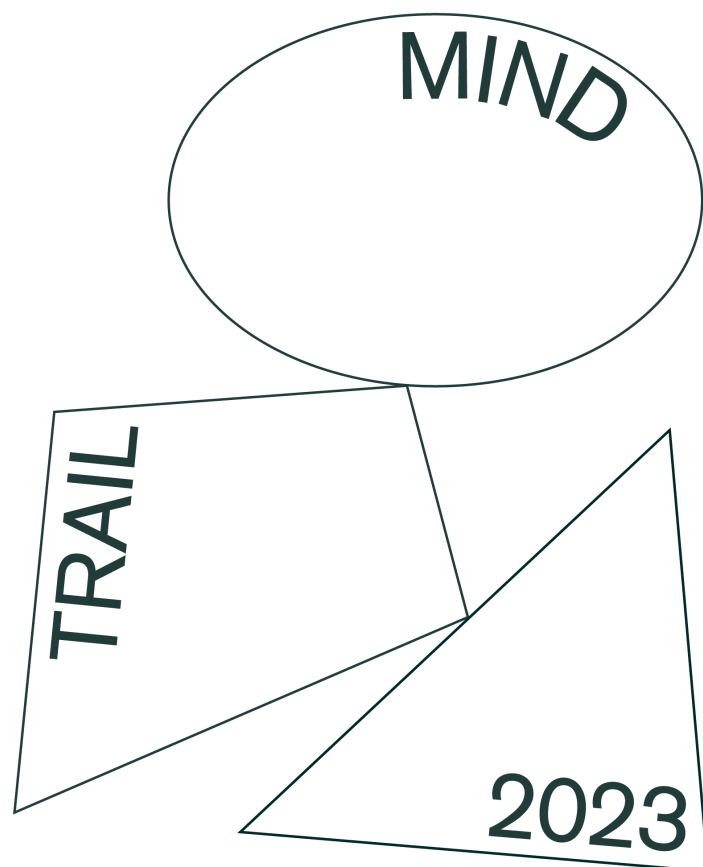


MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館 2023年9月よりエリアを新たに開催



MIND TRAIL  
奥大和 心のなかの美術館  
2023.9.16 sat — 11.12 sun

2020年にスタートした芸術祭「MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館」。世界遺産や大自然の中、歴史遺産を長時間かけて歩き、作品をレンズとして奥大和の魅力をもっと感じられる芸術祭を今年も秋に開催します。今年も吉野エリアはそのままに、天川と曾爾に変わり新しく下北山村でも開催いたします（もう一つのエリアは近日発表予定）。

これまでMIND TRAILはアーティスト選定から配置までエリアで選ばれたキュレーターとともに展開してきました。2023年は全体をプロデュースする齋藤精一を中心に、地域や人々を巻き込むことを得意とする3組——浅見和彦/ゴッドスコピオン/吉田山、SKWAT、矢津吉隆——がエリアディレクターとして各地域をディレクションします。エリアが新たになったことに伴い、ロゴをはじめとするデザインも一新。国内外でさまざまな賞を受賞し活動の場を広げる上西祐理氏によりMIND TRAILに新鮮な息吹が吹き込まれます（メインビジュアルは近日発表予定）。

大阪・関西万博やインバウンドの回復により海外からの来訪者も増えてくる事が予想される関西エリアで、MIND TRAILは奥大和の魅力をもっとアートを通じて国内外に広く周知していきたいと考えています。

MIND TRAIL は今から3年前の2020年、コロナ禍における観光復興の一環として開催しました。作品を通して奥大和の雄大な自然を体感するために何時間もかけて歩く芸術祭は、大きな打撃を受けていた奥大和の観光の活性化に寄与することができました。

奥大和に集まるアーティストや来訪者の視線が芸術祭にだけでなく地域やその産業、伝統文化にも向けられ、MIND TRAIL は奈良を外からアップデートする役割を担っている芸術祭であると、回を重ねるごとに感じています。

その目的をより明確化できるよう、3回目の開催から具体的なテーマを掲げることにしました。

それによって、MIND TRAIL の構造を改めて見直すことができたとともに、地域と来訪者と作品とアーティストの4つの関係性が新たに構築されました。MIND TRAIL のテーマは、関わる人全ての共通の哲学として意識されているのです。

4回目の開催では、Competency（能力）をテーマとします。

人それぞれが元々持っている力が、地域の方々や作品や自然と深く交わり、奥大和の活性化にさらなる力を加えていって欲しい。そのような思いで今回のテーマを考えました。

地域に暮らす人々の素晴らしさと資源に改めて光をあて、開催地域では個々人が持っている才幹や感性をいかんなく発揮できる場が生まれ、来訪者は交流によって芸術祭や観光以上の体験を得、経験値を高められるような場になることを期待します。

小さな行動はやがて交わって大きな「交動」になります。MIND TRAIL も、関わる全てを巻き込む強い力を持った芸術祭に発展し続けていきたいと考えています。



MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館 プロデューサー  
齋藤精一（パノラマティクス主宰）

#### MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館 開催概要

英語表記：OKUYAMATO MIND TRAIL Museum in your mind

会期：2023年9月16日（土）～11月12日（日）※58日間

会場：奈良県 <sup>よしのちょう</sup>吉野町、<sup>しもきたやまむら</sup>下北山村、ほか予定

入場料：無料

主催：奥大和地域誘客促進事業実行委員会、奈良県、吉野町、下北山村、ほか予定

協力：永和実業株式会社、豊永林業株式会社、ほか予定 ※50音順

プロデューサー：齋藤精一（パノラマティクス主宰）

エリアディレクター：浅見和彦（プロジェクト・ディレクター）/ゴッドスコピーオン（メディアアーティスト）/吉田山（アート・アンブリファイア）、SKWAT、矢津吉隆（美術家、kumagusuku代表）※50音順

ウェブサイト：<https://mindtrail.okuyamato.jp>

参加アーティスト、会期中イベントについては7月目処にお知らせいたします。